

# 北九州憲法ネットニュース

発行 9条の会・北九州憲法ネット 2014年4月1日 第68号  
 TEL592-5000 fax 571-4346  
 803-0817 北九州市小倉北区田町13番21号田町ビル3F  
 URL⇒http://kitaq-kenpou.net/

## 第9条

戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認

日本国民は正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

## 戦争に反対する世論の構築を急ごう！ 小森陽一(東大教授)が講演—国際女性デー

9条の会・北九州憲法ネット事務局長野瀬秀洋

集団的自衛権行使を容認することとは、どういうことか？これが、今日の話の本題です。」講師の小森陽一さん(東京大学教授・9条の会事務局長)は、これまで何度か北九州に来てお話をされ、分かりやすく話すことで、定評がある方です。会場には、殆どが女性、「国際女性デー記念北九州集会」が3月8日、ムーブで開かれました。したがって、講演の演題も「憲法守ろう女性の力で！今、私たちにできることは」である。

### 安倍首相の“歴史的使命”の背景

話は、安倍首相が、集団的自衛権の行使をこだわる背景から解きあかします。昨年末の全国の民主勢力を反対運動に駆り立てた「特定秘密保護法案」は、その前に、簡単に決まってしまった「国家安全保障基本法」と一体のもので、2005年の「2プラス2」(アメリカと日本の外務と防衛の大臣・官僚)の会合以来の課題だった。このことによって、2014年になり、国家安全保障基本法を根拠として「日本版NSC」が出来、動き出したのです。アメリカのNSCとは、大統領一人で戦争を始めることが出来る制度、これを日本で真似しようというものです。「2005年当時、安倍さんは、内閣官房長であり、その時からの“歴史的使命”と自分で決めていたとのでしょう。」と述べて、小森陽一さんの話は進みます。以下、さわりの部分を紹介します。

### 集団的自衛権があれば・・・

2013年9月、海上自衛隊は、海賊対策という理由を付けて、シブチ共和国のアデン湾に基地をつくっていました。そこに、シリア



の化学兵器事件で、国際的非難が起き、“あわや戦争”の危機が来ました。PKO活動(武器の使用が出来ない警察活動。)で、アデン湾にいた自衛隊は、戦闘地域には残れません。急遽撤退する準備に入り、そこで、韓国(韓国は、武器が使用できるPKF活動で駐留中。)に弾丸1万発を融通しました。このことは、国是であった「武器輸出3原則」を壊す行動です。この行動を指揮したのが「日本版NSC」の仕事始め。もし、この時点で、日本に「集団的自衛権行使」の方針があれば、自衛隊も、シリアとの戦争に巻き込まれていただろうと、小森陽一さんは断言しました。

### 集団的自衛権と憲法9条

集団的自衛権の問題は、即、日本国憲法9条に関わってきます。自衛隊は、朝鮮戦争の折、日本駐留のアメリカ軍が朝鮮に派遣された後をうめるため、「警察予備隊」として発足。その後も、アメリカによって、日本の再軍備の要求が繰り返され、自衛隊となり、その後、

1990年の湾岸戦争、1991年のイラク戦争でも自衛隊へのPKF組織への出動要請が繰り返され、当時の海部内閣の時には、アメリカの意向を受け入れる方針を決めましたが、時の内閣法制局は「憲法違反」の意見を出し、ストップさせました。このときに、世界は、日本の9条の存在を認識したのです。政府は、このときの代償の意味も含めて、1兆円の負担をして戦争に協力したのですが、アメリカからの感謝は一切なかったのです。

1992年宮沢内閣のとき、PKOに、自衛隊の派遣を行い、カンボジア、モザンビーク、そして、アデンに自衛隊が出て行くことになり。しかしそれでも、武器の使用は原則禁止です。「自衛隊の駐留しているところが非戦闘地域」（小泉首相の国会答弁）という言葉も出るような状況でしたが、政府の出来る限界を、憲法9条の力がつくってきたのです。

#### 自民党改憲草案が示す、戦争への道

小森陽一さんは、第2次安倍内閣の強行姿勢の根本となる、「自民党改憲草案」を示し、この草案には、戦前の「治安維持法」が組み込まれていると話します。平和憲法9条2項

を削り、「国防軍」の新設、緊急事態、戒厳令独裁体制、人権を踏みにじる国家中心主義が盛り込まれているのです。教育でも、教育委員会制度の改悪、教科書検定の強化、道徳教育の教科化……。集団的自衛権行使の容認を許せば、自民党の改憲草案が示す社会がまっているのです。

#### 国民の中の対話で方向を変えよう！

小森陽一さんは、戦争をする国づくりの安倍政権と対決するには、戦争に反対する国民世論を急いでつくることを呼びかけます。「9条の会が結成された2004年の読売新聞の世論調査では、『憲法を変えたほうが良い』と答えて人は6割を越えていた。全国で9条の会などが、憲法擁護の運動を展開した結果、世論が逆転した実績を私達は勝ち得ている。再度、国民世論に働きかけ、安倍政権を孤立させることが必要。9条の会が2013年10月7日に発表した声明を活用するなど、工夫してほしい」とまとめて、講演を終わりました。

会場の参加者の声でも「とても分かりやすく、ためになった」と好評を得ていました。

## 「9条まつり」楽しい企画準備中です

5月3日の午前10時30分開始で、「第4回北九州9条まつり」が勝山公園で開かれます。(雨天の時は、ムーブ5階大セミナールーム)。

9条まつりの実行委員会は、「楽しい企画で、参加者を元気にしよう」と、頑張っています。現在決まっている企画を紹介します。

10時30分開会。冒頭、山田さんが歌う「9条の歌」で始まります。

続いて、北九州のうたごえの皆さんが2曲歌います。

11時00分から、本日のメイン企画「鈴木君代ライブ」です。鈴木君代さんは、真宗本願寺派の僧侶をされていますが、シングソングライターとしても各地の講演会・ライブで忙しい毎日を送られている方です。この日



歌う鈴木君代さん

のライブが楽しみです。

11時30分から、恒例「大声大会」です。

憲法・平和への思い、その他を大声で叫び、ストレスを解消しましょう。法律事務所から出される「豪華景品」も注目です。

この間、会場のテントの中では、様々なグッズが売られています。エルビスのパン、生協の飲み物、せんべい。それと、9条まつりならではの平和団体のグッズが並びます。また、お子様には、バルーンアートが魅力でしょう。親子で「平和の樹」づくりも良い体験になりそうです。

もちろん、これも恒例となった「憲法前文クイズ」、回答用紙を出せば、景品のパン1ヶもらえ、しかも、正解であれば“もう一個”もらえるのです！

12時30分になれば、閉会です。憲法前文のクイズの、正解発表を兼ねて、全員で、憲法前文を唱和します。安倍政権の戦争する国づくりへの、大きな抗議を含め、声を張り上げ、皆で唱和してスッキリしたところで、次の「北九州憲法集会」（13時開始、会場はムーヴ）へと移動しましょう。

## 福岡県民集会で、「暴走政治ストップ」を決意

3月23日、福岡市冷泉公園で、「福岡県民代集会」が開かれ、2300名もの参加で、盛り上がりました。

緒方集会実行委員長（県労連議長）は、「平和と民主主義にとって、戦後最悪の内閣」と今の安倍政権を規定、これに対決して「戦争する国づくり反対、国民生活擁護のたたかいを全国で、燎原之火のごとく広げよう。暴走政治をストップさせよう」と訴えました。

憲法問題では、福岡市の近藤弁護士が、この間の「秘密保護法反対の取り組み」を報告しました。この中で、「昨年末の2カ月の秘密保護法案反対の運動が世論を変えた。この経験が、これから始まる、集団的自衛権行使容認反対の闘いでも、国民の支持を受けることを確信した。」と語りました。憲法以外の報告



は、消費税増税反対（民商）、医療問題（民医連）、原発再稼働反対（さよなら原発）、子どもと子育ての願いが行われ、国民の生活全体が、今の悪政のもとで、苦しまされていることが改めて認識されました。

## 集団的自衛権容認 与党公明も対決姿勢へ

共同センターニュース 2014年3月25日 335号から

17日開かれた自民党の総務懇談会で、憲法解釈変更による集団的自衛権の行使について慎重論が噴出しました（NEWS334号で紹介）が、これまで連立維持のため議論を避けてきた公明党にも、容認阻止にむけた動きが出始めました。

### 党の集団的自衛権に関する勉強会をスタート

集団的自衛権の行使容認にもともと慎重な姿勢を示していた公明党ですが、19日に党の集団的自衛権に関する勉強会をスタートさせ、その中で首相への対決姿勢を強めていく構えを確認しまし

た。これまで公明党は、今国会中の閣議決定をめざす安倍首相の「土俵」に乗らないように議論を避けて来ましたが、2014年度予算が成立後に本格的な議論になるとみて、勉強会をスタートさせ、「容認阻止へ対決姿勢」を強めていく構えです。



19日の勉強会「安全保障に関する研究会」の冒頭で、北川副代表は「これまで長年積み重ねてきた政府解釈について、もう一度よく理解をしていく必要がある」と、行使を認めて来なかった政府の憲法解釈を党内に周知していくとし、政府・自民党との協議に備える考えを示しました。平和を党是とする公明党にとって、憲法解釈変更による行使容認を認めない立場は崩せず、日本周辺の安全保障環境が厳しさを増しているとは認めつつも、個別的自衛権の拡大や警察権の範囲内で対応できると主張してきました。またこれまで連立政権に亀裂が走るのでは得策ではないと、国会で取り上げたり、党内での議論を進めたりすることをあえて避けて来ました。

「米国に向かう弾道ミサイルの迎撃」は、「自衛隊法に規定を新設すれば対応可能」との見解

この勉強会では、安倍首相が集団的自衛権が適

用されるケースとして想定する「米国などに向かう弾道ミサイルの迎撃」については、「自衛隊法に規定を新設すれば対応可能だ」と、あくまで集団的自衛権の行使容認は不要との考えを示しました。

一方、安倍首相側は公明党に容認の同意を取り付けようと、落としどころを探り始めていると新聞で報道されています。この間、政治主導をめざす教育委員会制度改悪で、公明党に配慮や譲歩を重ねてきた自民党は、考え方の開きが多い集団的自衛権についても、「公明党とはきちんとやっていく。個別案件になれば理解していただける」と、個別的な論議で公明党に接近する方針で。



## ありがとうございました 第4回北九州9条まつり協賛カンパ



3月 竹中松夫 戸上省二 戸上栄子 川副通夫 荒牧啓一 川原巍誠 勝野禎二 野瀬秀洋 曾根九条の会 江口佳郎 江口道子 平岡博 内村敏男 高瀬紀子 吉永一 八記久美子 小沢和秋 上田義彦 上田秀子 浦野昂 弁護士小鉢由美 高智彦 高野和夫 美濃部勝 美濃部恒子

九条の会」メルマガ詳細版 2014年03月25日 第184号

### 編集後記～解釈改憲 国会・国民の議論飛ばす 揺らぐ立憲主義

22日の東京新聞の1面トップの見出しがこうだったのです。本当にそうだと思いました。国会や国民の議論にはからず、政権の独断で憲法解釈を変えてしまうのは、まさにナチスの手口です。このような事態を前にして、私たち主権者はいまこそ、それぞれの意志で行動するときではないでしょうか。(T)

### カンパ有難うございます。そして、お願い。

「9条の会・北九州憲法ネット」は会費をとらず、皆さんからのカンパのみで運営しています。カンパにご協力いただける方は下記の郵便振替口座までお願い致します。

振替番号：01700-8-115768 名義：「九条の会・北九州憲法ネット」

**カンパ3月** 安藤昭雄 中西寿子 江副秀郎 竹中松夫 川副通夫 尾鶴真 川原巍誠 古賀三千人 勝野禎二 江口佳郎 江口道子 瀧川聡 平岡博 内村敏男 高瀬紀子 吉永一 八記久美子 五郡千枝子 小沢和秋 黒坂佳男 上田義彦 上田秀子 諸岡昭三郎 石橋眞智子 黒坂佳男 新飯塚診療所 石井方子 阿部陽子 高野和夫 美濃部勝 美濃部恒子

**メッセージ** ●募金 3/7 E. H ●毎度、お世話のことありがとうございます。出費多方面のため些少ですが自分会のみりで送金します。3/17 K. M ●カンパ 3/17 K. T ●緊急のカンパの訴えに応え、今できる範囲で奮発しました。3/20 O. K ●共にがんばりましょう 3/26 T. K ●いつもニュースありがとうございます。国際婦人デーでの小森氏の講演が胸にひびいています。9条の会が大切な時です。がんばってつながっていきましょう 3/26 M. T